



マリン5清水屋



(右)食品館マネージャー 加藤 真紀さん
(中)営業統轄マネージャー 押井 恵美さん
(左)衣料品統轄マネージャー 荒沢 美和さん

地域に愛される百貨店を目指しています。

おしごと拝見

vol. 27

市内企業の優れた技術力や製品、サービスを紹介します。

対話で紡ぐお客さまとのつながり

清水屋では衣食住のさまざまな専門店を揃えており、豊富な知識を持ったスタッフがお客さま一人一人と対話をしながら最適な提案をするきめ細かな対面販売を行っています。

地域密着型の百貨店として、商店街と協力してイベントを行ったり、催事場を学校の発表会で利用してもらったりするなど、大都市の百貨店とは違った試みを行っています。

心も、暮らしも、より快適に

清水屋全体の窓口となるのが営業統轄部門です。お客さまにいつも新鮮な気分で来店していただけるように、館内のレイアウトを変更したり、販売チラシやダイレクトメールなどの広告媒体を作成したりしています。衣料品部門では、実際に販売する時期の1年以上前から、メーカーの展示会を回って次の流行をつかみ、季節を先取りした商品を取り揃えています。

食品部門では、社員が直接現地で選んだ、各地の美味を集めた物産展を開催します。また食材の季節感を大切に、品揃えを小まめに入れ替えます。この夏1階フードコートとして、回転すし店のオープンを予定しています。

【企業の概要】

昭和52年 (株)酒田セントラルビルとして設立、平成19年株式会社マリン5に改称、平成23年現商号となる、平成24年新百貨店としてグランドオープン。
株式会社マリン5 清水屋
資本金 3,500万円
住所 酒田市中町2-5-1 ☎24-5511
代表取締役 成澤五一
従業員数 110人
事業内容 百貨店業、ビル賃貸業およびデベロッパ業務、駐車場運営管理業務
ホームページ <http://marine5-shimizuya.com/>



6階 ミュージアムホール



菓子工房

売場の裏手には、事務室や厨房などがあります。館内で提供されるスイーツなどは、ここで製作されています。

プレミアムフェアの様子です。学校の発表会や披露宴などの会場としても利用いただけます。

酒田っ子 子育て講座

すくすく

86

子どもからもらった問題

「他の子はやっていないのに、どうしてそんなことをするのだろう」「他の子はできるのに、なぜこの子はできないの」と感じることはありませんか。

私がまだ新米の母親だったころ、息子のなかなかやまない指しゃぶりに悩んでいました。

2歳を過ぎたころだったでしょうか。人から「指にからしを塗るといい」と言われてやってみたら、息子から「ママ、拭いて」と言われ、あえなく失敗。それではと、吸いダコができて指に「この指、バイ菌が入るといけないから、おしやぶりがやめようね」とリボンをつけてみたり…。何とかしてやめさせようとやっきになったものです。

指しゃぶりは、もうすぐ幼稚園に行くという4歳過ぎまで続いていたので「どうしてうちの子だけ

がこんな情けないことをしているのだろう。人から愛情不足と思われるのではないかと落ち込んでいました。

実はこの指しゃぶり、半ば諦め掛けていたのですが、入園式も近づいた1か月ほど前にパタッとやんだのです。「ぼく、もう幼稚園に行く『お兄さん』だもん」と。

この一件では、息子から問題への向き合い方を教えられたように思います。「指しゃぶりは問題だ」と、そのマイナス面ばかりに目を奪われて、それ以外のことには気付かなくなっていたのです。

子どもは周りの大人に、問題という問いを投げ掛けますが、その問題を解くのは子どもではなく、大人なのかもしれません。大人は何かその問いに答えようとするうちに、鍛えられ成長していくのだと思います。

お問い合わせ
子育て支援課 ども支援係
☎2615735

東北公益文科大学教授
國眼眞理子 先生